



「高校生の税に関する作文」

上地 莉緒さん（1年2組）

「諫早税務署管内租税教育

推進協議会会長賞」受賞!!

こんにちは、生徒会です。今年度の「高校生の税に関する作文」で、上地 莉緒（1年2組）さんが“**諫早税務署管内租税教育推進協議会会長賞**”を受賞しましたので皆さんに紹介します。

この税に関する作文は、国税庁が“次代を担う高校生が、税を題材とした作文を書くことを通じて、税に対する関心を一層深めてもらいたい”という趣旨で、昭和37年度から毎年実施されています。

本校でも毎年1年生の地歴・公民科の夏休みの課題として税に関する作文を書いています。上地さんは作文を書くにあたり消費税について調べ、「税金と生活」という題名で作文を書き、栄えある賞を受賞しました。11月19日（水）に諫早税務署の職員の方に来校いただき、校長室において表彰式が行われました。上地さん、受賞おめでとうございます。なお、同賞の本校生の受賞は3年連続となります。



【上地さんのコメント】

この度は受賞することができ、とても嬉しく感じています。作文を書くにあたり消費税について一から調べてみると、身近な制度でも知らないことが多く、社会を支える大切な役割があることを知りました。また、成人年齢が18歳となったことで、私自身ももうすぐ税金を納め社会を支える立場になることをより実感しました。今回の学びで得た気づきを大切に、お金の使い方や自分にできることを考えていきたいと思います。